

令和元年度 第6回屋久島町廃棄物処理施設整備検討委員会 議事要旨

期日:令和2年1月23日(木) 午後1時30分～午後3時00分

場所:屋久島町役場議会棟第2委員会室

【要旨】

◎ 検討事項

①残渣(焼却灰等)処理方法について

最終処分場に関する検討を行う

②これまでの検討内容について

建設候補地について検討を行う

(委員意見等)

- ・今の最終処分場はどれぐらい使えるのか、もしそこが一杯になったらまた、別の処分場を造れるのか。(委員)
- ・今の残渣量からすると、今後発生する見込みの残渣 460t位を全量最終処分場へ入れていくと、大体7年か8年ぐらいで一杯になる可能性がある。そのため、コンクリートの原料にするなど、少しでもリサイクルの方法があれば、島外に出すものと今の最終処分場に入れるものとバランスをとりながら運用することで、少しでも延命化を図りたいと考えている。そこが満杯になった時に次の施設をどうするかという事については、検討を早い段階で進めて後年度の懸念を減らしていきたいと考えている。
(事務局)

- ・今の場所で、水は豊富にあるのか。(委員)

- ・今の施設については、施設で使用する水は川の方から地下水が外に流れ出したものを水槽に溜めてポンプアップして使用している。今後、コンサルタントと打ち合わせをし、水の使用量の上限を設定し、施設の建設に取り組んでいく。(事務局)

- ・(建設候補地について)既存の施設を使いながら、コストをどう削減していくかということでここまで来たわけなので、今の施設の中で、きちっと完結するべきではないかと思う。(委員)

- ・既存の施設、既存の敷地ということを中心に検討したうえで、費用対効果を考慮しながら、必要に応じ造成やその周辺用地の購入等を比較検討したい。(事務局)

- ・技術的なことや、費用対効果などの比較検討は、専門家の判断をいただいた方がよいと思う。(委員)